

平成30年度 小平市立小平第十一小学校 学校評価計画表

学校教育目標 気品と気概のある子
 ○かしこい子 自ら学び自ら考える子
 ○つよい子 めあてを決めて行動しやりぬく子
 ○やさしい子 相手を思いやり協力し合う子(平成30年度の重点)

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 児童にとって、安全で楽しい学習・生活の場であること、いじめのない、児童がよりよく成長する、ぬくもりのある学校を目指す。
- 【目指す児童・生徒像】 主体的によりよく問題を解決する能力、思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、逞しく生きるための健康と体力をもつ児童を目指す。
- 【目指す教師像】 全ての教職員が全ての児童の担任であるという自覚をもち、児童一人一人を大切に、授業力・指導力の向上に努め、資質を高める教師を目指す。

前年度までの学校経営上の成果と課題

経営方針の実現に向け、「こころ」「体」「いのち」に関する学習内容を総点検し、6年間で学べべき「いのちプロジェクト」を作成し系統的に指導を行い、児童の生きていこうとする意欲や願い、やさしさをよりよく育てることを目指して教育活動を進めた。80%以上の保護者が児童の「いのち」の捉え方が変化したとアンケートに回答するなど、成果は着実に上がってきていると考えられる。また、関係者評価でも肯定的な評価をいただいたとともに、教職員、各自が「いのちの学習」に取り組む、授業力を向上させることもできた。しかし、学校評価の教員アンケートによると、「いのちの学習(いのちプロジェクト)」のプログラム化が一年間では十分にできていないとの課題が出されていた。今年度も学校教育目標の重点を「やさしい子」として全学級で「いのちの学習」を実施し、児童にいのちを実感させる機会を通して自尊感情を育み、児童個々の自立心を養成していく。また、新学習指導要領移行期間が始まる今年度は、小平市教育振興基本計画に基づき「学校は子どものためにある」という原点に立ち返り、課題解決にあたる。また、地域・家庭とともにある本校の特色を生かし、学校の役割を見つめ直し、教職員、保護者、地域の方々の一一人が参画し、地域の学校(コミュニティ・スクール)としての基盤をつくる一年としていく。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)
学力向上	基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。	学習規律を徹底させる。	①授業の開始時刻・終了時刻を守る。 ②授業の始めと終わりのあいさつを確実に行う。 ③「はい」「立つ」「です」のルールを徹底する。	4 全学年・学級で実施 3 実施率85%～99% 2 実施率80%～84% 1 実施率80%未満	4 児童へのアンケート AとBが90%以上 3 児童へのアンケート AとBが85%～89% 2 児童へのアンケート AとBが80%～84% 1 児童へのアンケート AとBが80%未満
		東京ベーシック、ドリルの正解率を向上させる。	①東京ベーシックドリル診断シートを毎学期行う。 ②朝学習や家庭学習を活用し繰り返し取り組む。	4 全学年・学級で実施 3 実施率85%～99% 2 実施率80%～84% 1 実施率80%未満	4 診断シートの正当率90%以上(2～6年) 3 診断シートの正当率80%以上90%未満(2～6年) 2 診断シートの正当率70%以上80%未満(2～6年) 1 診断シートの正当率70%未満(2～6年)
健全育成	思いやりのある児童の育成する。	自ら進んであいさつができる児童を育てる。	①年3回のあいさつ運動に取り組む。 ②毎朝、教室や玄関で児童を迎え、教職員自らあいさつをする。	4 全学年・学級で実施 3 実施率85%～99% 2 実施率80%～84% 1 実施率80%未満	4 保護者へのアンケート AとBが80%以上 3 保護者へのアンケート AとBが70～79% 2 保護者へのアンケート AとBが60～69% 1 保護者へのアンケート AとBが60%未満
		いじめゼロの学校をつくる。	①いじめ見逃しゼロに向けて児童へのアンケート調査を実施する。 ②早期解決に向けて月2回生活指導連絡会を開催する。	4 全学年・学級で実施 3 実施率85%～99% 2 実施率80%～84% 1 実施率80%未満	4 児童へのアンケート AとBが80%以上 3 児童へのアンケート AとBが70～79% 2 児童へのアンケート AとBが60～69% 1 児童へのアンケート AとBが60%未満
体力の向上	健やかな体を育成する。	児童の統一体力テストの結果を平均10%向上させる。	①体づくり運動の指導を研究成果を基に実践する。 ②体力向上旬間を設け、運動の日常化を目指す。	4 全学年・学級で実施 3 実施率85%～99% 2 実施率80%～84% 1 実施率80%未満	4 児童へのアンケート AとBが80%以上 3 児童へのアンケート AとBが70～79% 2 児童へのアンケート AとBが60～69% 1 児童へのアンケート AとBが60%未満
		運動やスポーツの好きな児童を育成する。	①学校公開時に親子で運動を開催するなどして家庭での運動の実施に取り組めるよう啓発する。 ②なわとびや長縄、持久走などに関する体力向上旬間を設け、運動の日常化を目指す。	4 全学年・学級で実施 3 実施率85%～99% 2 実施率80%～84% 1 実施率80%未満	4 児童へのアンケート AとBが80%以上 3 児童へのアンケート AとBが70～79% 2 児童へのアンケート AとBが60～69% 1 児童へのアンケート AとBが60%未満
① 特色ある学校づくり	地域と連携した教育活動の推進する。	保護者・地域の方々、関係機関等の授業参画を充実させる。	ゲストティーチャーの招聘など、外部人材を活用した授業を学期に1回以上実施する。	4 学年の実施日の合計10回 3 学年の実施日の合計9回 2 学年の実施日の合計8回 1 学年の実施日の合計7回以下	4 教員へのアンケート AとBが90%以上 3 教員へのアンケート AとBが80～89%以上 2 教員へのアンケート AとBが70～79%以上 1 教員へのアンケート AとBが70%未満
		コミュニティ・スクール指定に向けた取組を推進する。	コミュニティ・スクール推進委員会を立ち上げ、組織基盤を構築するための話し合いを月に一回以上実施する。	4 月1回以上 3 2ヶ月に1回の実施 2 学期に1回の実施 1 年間3回未満	4 教員へのアンケート AとBが90%以上 3 教員へのアンケート AとBが80～89%以上 2 教員へのアンケート AとBが70～79%以上 1 教員へのアンケート AとBが70%未満
② 特色ある学校づくり	キャリア教育の充実	自己の生き方について考える機会を設ける。	いのちの学習の実践を『いのちプロジェクト』に則り、各学級で学期ごとに1回以上行う。	4 各学級においていのちの学習に関する授業の毎学期実施 3 各学級においていのちの学習に関する授業の年間2回実施 2 各学級においていのちの学習に関する授業の年間1回実施 1 実施せず	4 教員へのアンケート AとBが90%以上 3 教員へのアンケート AとBが80～89%以上 2 教員へのアンケート AとBが70～79%以上 1 教員へのアンケート AとBが70%未満
		幼・保・小・中連携教育の充実を図る。	①六中学区における小・中連携教育に関する取組を実践する。 ②幼稚園・保育所と連携した取組を実践する。	4 該当学年の実施、各4回以上 3 該当学年の実施、各3回以上 2 該当学年の実施、各2回以上 1 実施せず	4 教員へのアンケート AとBが90%以上 3 教員へのアンケート AとBが80～89%以上 2 教員へのアンケート AとBが70～79%以上 1 教員へのアンケート AとBが70%未満